

Plus⁺

Management information

Vol.9

安江一勢税理士事務所

6

2022

Business plus

時間の余白を
つくりえていますか？

時間の余白をつくれていますか？

ライフワークバランスを見直し良い時間の使い方を

育児を始めて、早2ヶ月。

5月中旬には、妻と子どもたちが里帰り出産から帰ってきてくれ、自宅に双子の子どもたちがいる生活が始まりました。

私もそのタイミングで、ライフワークバランスを見直し、ほとんどの仕事を家でできるように整え、月の半分を仕事時間、残りの半分を家族時間に使うことにしました。

これまでは、朝から夜まで働いているような生活だったので、育児を始めてからというもの時間の使い方が圧倒的に変わりました。

初めの頃は、仕事が成り立つのかと不安でしたが、「決めたら成し遂げる」という性格上、工夫に工夫を重ね、今では当たり前のように、半分仕事時間・半分家族時間に、時間を使えるようになりました。

むしろ、限られた時間の中で仕事をしなければならぬという良いプレッシャーが仕事の生産性を高め、以前よりも良い時間の使い方ができているくらいです。

あえてつくった時間の余白が仕事にも良い影響を与える

また、そのような時間の使い方を始めてから、思わぬ副産物が生まれました。

それは、子どもを寝かしつけているときや集中してお世話をしているときに、仕事ができないという状態により、強制的に仕事から離れることになりました。

これにより、良い意味で目の前の仕事をやるだけにならず、仕事の優先順位を明確にすることができたり、新しいアイデアを生み出す時間になったりしました。

いわゆる「時間の余白」をつくることとなりました。

育児は決してラクではない（体力的には仕事よりも大変なくらい）ですが、一種の瞑想状態のように、精神的には余裕が生まれたので、育児を始めてからというものアイディアの想像力や未来への創造力が桁違いに上昇しました。

よって、仕事や行動へのモチベーションも高まり、さらに仕事の生産性が高まるといった好循環を生むこととなりました。

全力で頑張るためにも、あえての「余白」をつくる。

ちょっとしたことが大きな変化につながるのだと改めて感じました。

時間は、誰しも平等に与えられた資産であり、絶えず減っていく資産でもあります。

この時間をどのように投下し、どのように編集をしていくのか。

人生の質は、時間の使い方と比例をします。

これからも、仕事の生産性と余白の充実を両立させられるような時間の使い方に努め、質の高い日常を過ごしていけたらと思います。

もし、あなたが今、目の前の仕事ややることで忙しくなっているのであれば…。

一度、強制的に仕事から離れ、余白をつくってみてくださいね。

その余白から生まれることは、きっとあなたの仕事に大きな気付きを与えてくれることでしょう。



『配られたカードで勝負するっきゃないのさ』

(スヌーピー)

皆から愛されているスヌーピー。知らない人はいないと言って良いほど、認知がされているキャラクターです。

かわいい顔からは想像ができないほど、多くの名言を残しています。今回はその中でも、あまりにも深い一言をご紹介します。

それが「配られたカードで勝負するっきゃないのさ…。それがどんな意味であれ」です。つまり、「人生は配られたカードで勝負をするしかない」というものです。

私たちは、思い通りにいかない時に、つい他の人の才能や環境を羨ましく思ったり、妬んだりしてしまうものです。

そんな時に思い出してもらいたいことが「自分のカードで勝負をする」という考え方です。

他の人にはない自分だけの強みを生かして戦っていく。それができれば、自ずと結果は出てくることでしょう。

そのことをスヌーピーは優しく伝えてくれています。

この言葉を知ってから、私はスヌーピーを見る目が変わりました（笑）

スヌーピーは他にもさまざまな名言を残しているので、ぜひ、一度調べられてみてくださいね。

Personal plus

お寿司を食べに行くも…

先日、私の母と妹が子守りをしてくれていたので、久しぶりに妻と2人でお出かけしてきました。

今回は、出産を頑張ってくれた感謝の意味も込めて、カウンタースタイルのお寿司屋さんへランチに行ってきました。

いわゆる、回らないお寿司屋さんです（笑）

授乳のタイミングもあり、時間が読めなかったことから、お店の予約はできず、お店のリサーチだけをして、飛び込みでお店に入りました。

すると、第一候補のお店は予約でいっぱい。次に、第二候補のお店へ行くと、そのお店はちょうど席が空いていました。

経験豊富そうな女将さんにお出迎えをされ、雰囲気のある板前さんの前の席へ。

「お代がいくらになったとしてもご馳走しよう」と気合いを入れていました。

そして、一番美味しそうで満足感のあるメニューを見つけ、これにしようと金額を見てみると…。

「1,100円」との表記が…。

「え？安すぎない？これ」と思った私。隣の妻を見てみると、妻もそのメニューが気に入ったようでした。

しかし、これでは格好が付きません。

他の高いメニューを勧めるも、結局それが一番満足感のあるメニューだったこともあり、そのメニューを2人とも頼みました。

出てきたお寿司の味は美味しく、満足しましたが、思いっきりご馳走しようと思って、なんだか不完全燃焼でした。妻は喜んでくれましたが、私の中ではモヤモヤが残りました（笑）

妻には、リベンジをさせてくれと言っているの、次は一番候補だったお寿司屋さんの方へ連れて行きたいなと思います！



これにお吸い物、茶わん蒸し、デザートで1100円はリーズナブルすぎました（笑）



最後に余談をひとつ…！

ご報告です。

かねてからの夢でもあった紙の書籍の出版が来年春（2023年春）の予定で決まりました！

今回、出版が決まった書籍のテーマは「26歳のためのお金の本」です。

私自身、全国に0.6%しかいない20代の税理士でもあるので、そんな私だからこその強みを生かした企画となりました。

また、この書籍は、兼ねてから親交があり、尊敬もしている編集長のもとで出版することができるので、今からとても楽しみで、現在は企画の熟考を行っているところです。

出版までの流れや裏側などは、今後のPlus+でお伝えするとして、今回のPlus+では「なぜ、出版なのか？」という部分をお伝えしたいと思います。

私が人生を賭けて叶えたい夢の中に「100万部ベストセラー作家」というものがあります。本が読まれなくなっている現代において、10万部売れたら、ベストセラーと言われています。その中で、私が目指しているのは累計100万部越えです。

100万部を目指したい理由としては、シンプルに「100万人の人に想いや学びが届くから」です。



今月のお知らせ

監査時に対象の方にはご連絡をさせていただきますが、給与の支払いをされている事業者の方は、源泉所得税の納付を来月7月10日までに行わなければなりません。

こちらの納付は1日でも納付が遅れると、納付額の10%の延滞税が加算されます。

そのため、余裕を持って、今月中の納付を行っておいてください。

源泉所得税の納付は原則としては翌月の10日に納付を行わなければなりません、
「源泉所得税の納期の特例の承認に関する

セミナーや講演だと、開催や参加までのハードルが少し高かったり、個別対応であれば、対応できる人数に制限があったりします。

しかし、書籍であれば、なんとなく立ち寄った書店で手に取ることがあったり、周りの人からプレゼントをしてもらったりとハードルが低く、多くの人に届けることができます。

私もある一冊の本で人生が変わり、その本のおかげで今の自分があります。

そんな風に、人生が好転するきっかけをひとりでも多く生んでいけたらと思っています。

いつの日か、私の書籍でもそのような読者が出てきてくれるように…。

私自身、日々成長を重ねながら、これから執筆していく原稿に、想いをこめていきたいと思っています。

自分の本が書店に並べられる日が今から楽しみです！

ぜひ、お楽しみにされてみてください！

今月号のPlus+もお読み頂き、ありがとうございました！



申請書」という届出書を出している場合で、給与支払者が10人未満の場合にのみ、半年に1度の納付にすることができます。

意外と忘れがちな納付になりますので、お忘れのないようにご納付ください！

事務所の方でも、納付の管理をしておりますので、納付をした際には、ご連絡をお願い致します！